

生活単元学習（人権）学習指導案

- 1 単元名 お世話になった人に年賀状を送ろう
- 2 単元設定の理由（省略）
- 3 単元の目標
 - (1) お世話になった人について考えながら活動に取り組むことができる。
 - (2) 自分の気持ちを年賀状に書き、送付することができる。
- 4 指導計画
 - (1) 年賀状について知ろう…………… 1 時間
 - (2) お世話になった人について考えよう…… 2 時間
 - (3) 年賀状を書こう…………… 2 時間（本時 1 / 2）
 - (4) 年賀状を出そう…………… 2 時間
- 5 本時
 - (1) 個人目標（省略）
 - (2) 普遍的な学習のテーマ 他者の理解と尊重 自己表現力 自尊感情

(3) 展開

学習活動	支援上の留意点	評価
1 始まりのあいさつをする。 日直が号令をかける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1は日直に号令を促す。 ・ T2は他の生徒が静かに待てるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな声であいさつができています。
2 学習内容を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1は活動内容を黒板に書いておき、生徒に1つずつ説明をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の活動に見通しをもつことができています。
3 前時の振り返りをする。 ①お世話になった人について思い出す。 ②年賀状を送る人を決める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1は前時の内容を確認しながら、振り返りをする。 ・ T2は一人一人にお世話になった人を思い出すことができるよう声かけする。 ・ T1は年賀状を送る相手を決めることができるよう支援する。例として、祖父母や施設の先生などの具体例を出す。 ・ T2は自分で決めることが難しい生徒の支援をする。親や友達、先生の写真を準備し、その中から選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時の内容について思い出すことができています。 ・ 自分で送る人を決めることができています。(A, B, C, D, E)
4 年賀状の内容について考える。 ①自分の思いを文章にする。 ②例文の中から文章を選択する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1は一般的な文章の例、自分の気持ちの表現例を提示する。自分の思いを文章にする支援をする。 ・ T2は例文から選択する支援や、絵を描くことを助言する。 ・ T1は自分の選んだ文章や絵を下書きすることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 感謝の思いを言葉にしたり、選択したりすることができています。 ・ 自分の気持ちを文章にまとめることができています。(A, B) ・ 例文章から自分の気持ちを選択することができています。(C, D)
5 年賀状を書く ①各自の内容や絵を下書きする。 ②文章を選んで写す。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1, T2とも生徒が考える時間を与えながら、すすまない時には適宜声かけをする。 ・ T2はEが選んだ例文を1文字ずつよく見て丁寧に写すよう適宜声かけをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下書きを完成させることができています。(A, B, C, D) ・ 見本の文章を選んで、自分で文章を書き写すことができています。(E)
6 できた年賀状を友達に見せて、発表する。 ①工夫したところを発表する。 ②年賀状を友達に見せる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1は生徒が工夫したところを発表できたら賞賛し、拍手する。 ・ T2は生徒が前を向いて発表を聞き、拍手できるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人で発表ができています。(A, B) ・ 声かけ等の支援を受けて発表ができています(C, D, E) ・ 友達の発表に拍手ができています。
7 終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ T1は本時の活動を振り返り、それぞれががんばっていたことを賞賛する。 ・ T1は日直に号令を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな声であいさつができています。